

光が丘第一小学校・光が丘第二小学校 統合準備会(第5回) 要点記録

開催日時	平成20年11月4日(火)午後6時~午後7時25分	
会場	光が丘第二小学校 図書室	
出席者	委員	細谷勝、齋藤栄子、野村隆久、佐藤洋、岡本由佳、庄司幸、菅野幸子、鶴岡まみ、長瀬あつみ、三木佳子、川澄吉広、石井秀夫、本橋和三、高瀬欣一、関子祐子(敬称略)
	その他	学校教育部長
	事務局	新しい学校づくり担当課
傍聴者	1人	
案件	<ol style="list-style-type: none"> 1 統合準備会(第4回)の要点記録の確認 2 学校指定用品の公費負担について 3 統合準備会連絡会(第1回)の協議結果について 4 統合新校の校名の選定について 5 その他 	

1 統合準備会(第4回)の要点記録の確認

事務局

統合準備会(第4回)の要点記録(案)を配付した。修正・意見等があれば11月11日(火)までに連絡をいただきたい。その後、発言者を無記名にして、新しい学校づくり担当課のホームページで公開する。

委員

もう少し詳しく要点記録を作成してほしい。

事務局

発言の要点を簡潔明瞭にまとめている。ご意見として受けとめる。

2 学校指定用品の公費負担について

事務局

両校の教職員で構成する教職員連絡会で統合新校の学校指定用品を検討してもらった。その協議の結果、統合時に買い替えが必要な品目は、校章が変更となる校帽と体育着(上)との報

告があった。本日の統合準備会の意見を踏まえ、学校とも相談した上で、区が負担する品目を決めていきたい。

委員

指定している体育着（ハーフパンツ）は値段が高い。統合新校の学校指定用品は、従来のものをそのまま引き継ぐのではなく、保護者の意見を聞き、値段の安くて良いものを新しく指定してほしい。

委員

光が丘第一小学校では、毎年5月に運動会があるが、紅白帽子にツバがないため、児童が日差しを眩しそうにしている。ツバがついていない理由は何か。

会長

帽子にツバがあると、マット運動の際に支障があるためである。ツバつきのものを指定することもできるので、改めて要望していただきたい。

委員

統合新校では、ある程度保護者の裁量で購入できるよう、例えば色だけの指定にするなど、指定を緩やかにしたらどうか。

会長

以前は、光が丘第一小学校でも、学校指定用品を厳密に指定していたが、現在では、ハーフパンツや上履きについては、必ずしも学校で指定したものを購入しなくてもよいようにしている。

副会長

現在、両校のハーフパンツは同色・同規格なので、指定を緩やかにしていけば、買い替えは不要ではないか。

委員

他の統合新校と比べ、区が公費負担をしてくれる品目が少ない。同じ地域で4つの統合を同時に行っている以上、保護者に不公平感を与えないようにしてほしい。

委員

高学年の児童は、ハーフパンツを買い替える時期に来ている。ハーフパンツを公費負担の品目に追加してほしい。

副会長

当統合準備会としては、校帽、体育着（上・下）を要望していきたいと思うがよろしいか。

- 異議なし -

3 統合準備会連絡会（第1回）の協議結果について

（10月15日（水）に開催された統合準備会連絡会（第1回）の協議内容を報告）

【概要】

(1) 統合準備会連絡会の進め方について確認した事項

- ・ 統合準備会連絡会は、各統合準備会の合意に基づいて開催する。
- ・ 統合準備会連絡会で確認した事項であっても、各統合準備会が最終的に判断する。
- ・ 委員の代理出席を認め、各統合準備会がその選出方法を定める。
- ・ 会議は原則として公開で行い、開催日時や議事録はホームページで公表する。

(2) 統合新校の校名の選定に関する委員の主な意見

- ・ 校名を公募することに賛成である。
- ・ 校名募集の範囲は、統合対象校の児童と保護者、光が丘とその周辺地域に限定したほうがよい。
- ・ 光が丘地区として名称の統一性をとったほうがよい。
- ・ 校名の候補が重なった場合のみ調整すればよく、名称の統一性をとる必要はない。
- ・ 名称の統一性をとるために条件を付けると、児童が自由に応募できなくなる。
- ・ 名称の統一性は、校名の募集後に図ればよい。

4 統合新校の校名の選定について

事務局

統合準備会連絡会（第1回）では、校名の募集については「公募すべきである」、募集の範囲(対象者)については「統合対象校の児童・保護者、光が丘および周辺地域に限定すべきである」という意見が多数であったが、名称の統一性については賛否両論で、様々な意見があった。また、「各統合準備会（第5回）の後に、再度、統合準備会連絡会を開催すべきである」との意見が多数であった。そのため、校名決定に向けた今後のスケジュールとして、今月中に統合準備会連絡会（第2回）を開催し、12月に開催する統合準備会（第6回）で、名称の統一性や募集方法について協議し、平成21年1月に校名を募集したいと考えている。その後、事務局で校名案の集計を行い、2月から3月に開催する統合準備会で校名候補を決定し、6月の区議会第二回定例会で条例を改正したい。

副会長

当統合準備会における、統合準備会連絡会の委員の代理出席の選出方法を決めたいが、意見はあるか。特に意見がなければ、委員は両校の保護者と地域から代表として出ているのだから、

代理の委員もその中から選んだほうがいいのではないかと。

- 異議なし -

副会長

統合新校の校名の選定について、本日の統合準備会で結論を出す訳ではないので、より多くの意見をいただきたい。まず、校名の募集について、統合準備会連絡会（第1回）では、「公募すべき」という意見が多数であったようだが、意見はあるか。

委員

校名は、公募すべきである。

副会長

募集の範囲（対象者）について、統合準備会連絡会（第1回）では、「統合対象校の児童・保護者、光が丘および周辺地域に限定すべき」という意見が多数であったようだが、募集の範囲（対象者）についての意見はあるか。

委員

統合準備会だよりはどの範囲に配布しているのか。

事務局

基本的には、統合対象校8校の通学区域に、町会・自治会を通じて回覧・掲示をお願いしている。光が丘第一小学校と光が丘第二小学校であれば、光が丘の通学区域、旭町一丁目の全域および高松五丁目の一部である。

委員

校名募集の範囲として示されている周辺地域とは、統合準備会だよりを配布している地域か。

事務局

そう考えている。

副会長

応募用紙に応募者の住所・氏名、その校名にした理由欄を設けるか。

委員

応募用紙に応募者の住所や氏名を書いてもらうことで、地域限定が図れるのではないかと。

委員

区報やホームページを利用し、区内全域を募集の対象とすべきである。今後、校歌や校章について多くの意見を得るためには区内全域から募集する必要があり、校名を募集することで光

が丘地区の学校統合を周知できる。

委員

校歌や校章については区内全域から募集してもよいが、校名は、光が丘および周辺地域に限定して募集したほうがよい。

副会長

校名の募集範囲は、光が丘第一小学校と光が丘第二小学校の通学区域か。

事務局

4校の校名を同時に募集するため、対象校の通学区域に限定することは困難である。統合対象校8校の通学区域と考えている。

委員

光が丘とその周辺地域は、光が丘地区の小学校への思い入れが強いと思うので、校名募集については、地域限定にした方がよい。ただし、住所まで書かせる必要はない。

委員

区報・ホームページで周知すると、区外からの応募もあることを想定しておく必要がある。

委員

光が丘とその周辺地域は、光が丘地区の小学校への思い入れが強いと思うので、校名については、光が丘および周辺地域に限定して募集したほうがよい。

委員

校名は、光が丘および周辺地域に限定して募集したほうがよい。

委員

校名案を真剣に考えた人は自信を持って名前を記入すると思うので、応募用意に氏名欄を設けてもよいが、無記名でも有効とすればよい。

委員

校名案の集計は事務局で行うのか。

事務局

事務局で集計し、統合新校ごとの校名案を統合準備会用資料としてまとめていきたい。

委員

校名案の応募数は資料として出してもよいが、多数票で決めるべきではない。

委員

光が丘地区に同時期に4校の統合新校が開校するので、4校の校名案を応募したい人にはそれができるようにしてほしい。また、光が丘や周辺地域に住んでいなくても、興味のある方もいると思うので、応募できるよう窓口を広げてほしい。

委員

応募用紙に理由欄を設けた方がよいが、未記入でも有効とすればよい。

副会長

応募用紙に校名は多数票でもって決めるのではないことや、新しい校名にすることを明記するか。

委員

校名は、多数票でもって決めるのではないことを明記した方がよいが、新しい校名にすることは、わざわざ明記しなくとも、集計結果を見てから判断すればよい。

副会長

校名の募集は平成21年1月を予定しているが、スケジュールについての意見はあるか。

委員

1月が募集期間だと、1月上旬は冬休みなので、実質1ヶ月間とれないのではないか。

委員

募集前に校名案を考えられるよう、募集することを事前に周知すれば、1ヶ月とれなくとも支障ないと思う。

委員

地域の方だけではなく、児童や保護者にも事前に周知する必要がある。

会長

統合準備会だよりで周知できるのではないか。

事務局

事前周知の方法については検討する。

副会長

名称の統一性についての意見はあるか。

委員

田柄第三小学校は、なぜ「光が丘第九小学校」ではなく、「田柄第三小学校」となったのか。

事務局

田柄第三小学校は昭和 52 年に開校した。「光が丘第一小学校」と予定されていたが、当時、光が丘には住んでおらず、田柄地域の児童が通っていた。地域の方々の思いを込めて、校名は田柄第三小学校に決まったと聞いている。

委員

田柄第三小学校の地域性を考えると、光が丘地区として 4 校の統一性をとることは難しいと思う。校名が重なる場合は調整が必要だが、基本的には各統合準備会で校名を決めていったほうがよい。

委員

統一性を重視すると、校名を募集する意味が薄れてしまう。まずは、統一性を考えずに、各統合準備会で募集し、他校と重複する場合は検討していけばよい。

委員

統一性をとらずに募集し、重なった場合に調整すればよい。

委員

光が丘地区であっても、旭町や田柄から児童が通っている小学校もあるので、あえて「光が丘」を入れる必要はない。また、統一性を図ろうとすると校名が限定されてしまうので、その必要はない。

委員

校名の統一性がとれなくても、その校名が長い期間をかけて地域に浸透し、受け入れられればよいので、統一性を図る必要はない。

会長

募集結果を見たうえで、4 校の統一性や調和をとる可能性は残してほしい。

委員

調和や統一性がとれれば、きれいだとは思う。

委員

4 校の調和を考慮していくためにも、他の 3 校の募集結果も資料として出してほしい。

事務局

了解した。

副会長

それでは、本日出された意見を事務局で整理し、統合準備会連絡会（第2回）に報告していただきたい。開催日はいつか。

事務局

第2回統合準備会連絡会については、11月21日（金）午後7時から、光が丘区民センターで行うことを予定している。後日、開催通知を送付するので、出席をお願いする。

5 その他

副会長

次回の統合準備会の日程を決めたい。次回は12月2日（火）午後6時から、光が丘第一小学校で開催したいと思うがよいか。

- 異議なし -

副会長

本日は、これをもって終了する。